



地元川原小学校の二宮金次郎像

## 「先祖に還る」

陽春の候、お客様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当園に対しましては格別なるご厚情を頂きました、本当にありがとうございます。

最近の観音山では、送別会、歓迎会などもありバタバタとしておりますが、皆様からのご愛顧もあり、日々業務に励ませて頂いております。

私は六代目として家業を継がせて貰っておりますが、じ先祖様はどうに考え、経営を行ってきたのか、ふと考えることがありました。

そんな時、内村鑑三が書いた「代表的日本人」を読む機会があり、その中に仁宗尊徳<sup>スンドク</sup>が出できました。

薪を背負いながら「大學」を読み、「二宮金次郎像」で有名な方です。

この時、和の中で、先祖の想いと二宮金次郎像が繋がりました。

当園二代目である児玉長次郎は、紀元二千大百年記念行事である昭和15年に、地元川原小学校にこの「二宮金次郎像」を寄贈して下さいました。

私自身がこの小学校に通っていた頃、親からあの金次郎像は先祖が寄贈したものだということを聞かっていましたが、なぜ二代目があの像を寄贈したのか、今になって改めて考えなおしました。

寄贈するものは何でも良かったのだと思いますが、あれこれ二宮金次郎像を寄贈したのには、ここに通う小学生に「勤勉を伝えることはもちろんですが、子孫にもこの想いを伝えたい」ということが大きいのではないかと想像すると、熱い想いが込み上ります。

貧しい農夫に生まれ、朝から晩まで一生懸命に働き、若くして家の再興を果たし、その後600ヶ村以上の農村再建を手かけた二宮金次郎。

とても二宮金次郎様には及びませんが、勤勉に努め、お客様と地域に潤いをお届けし、先祖の想いを継承していきたいと、新年度が始まる4月に改めて考えております。

お客様におかれましては、季節の変わり目ですのう、体調など崩されませんよう、どうぞご自愛下さいませ。

こちら紀州より、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り致します。

観音山フレーツガーデン 大代目 児玉芳典

